

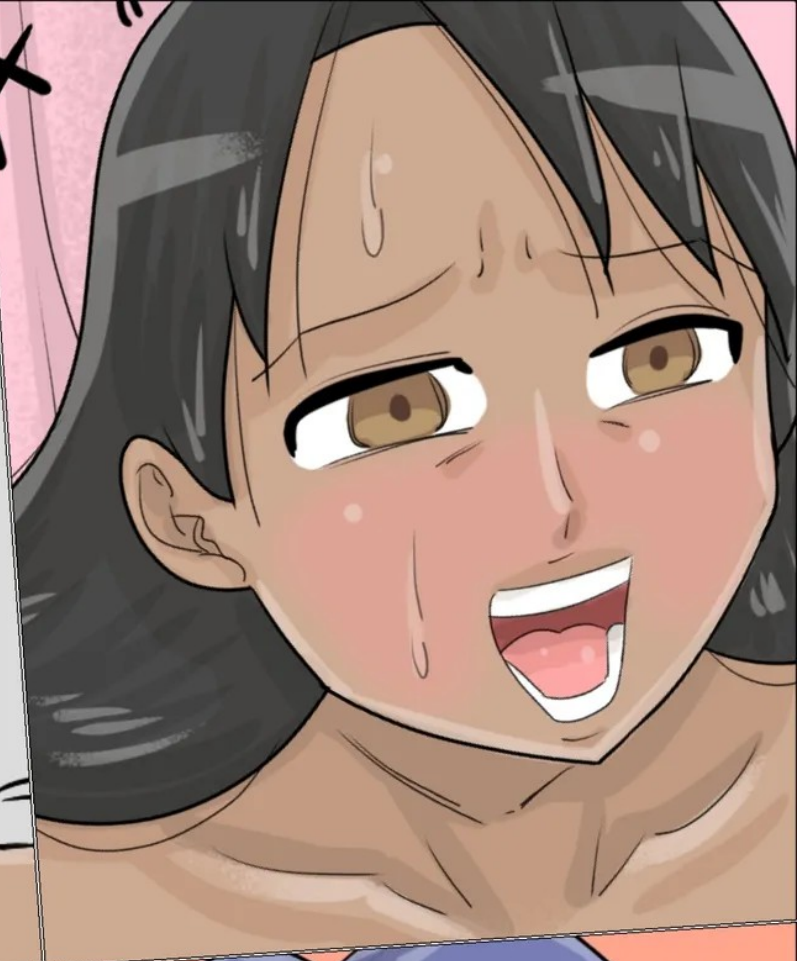
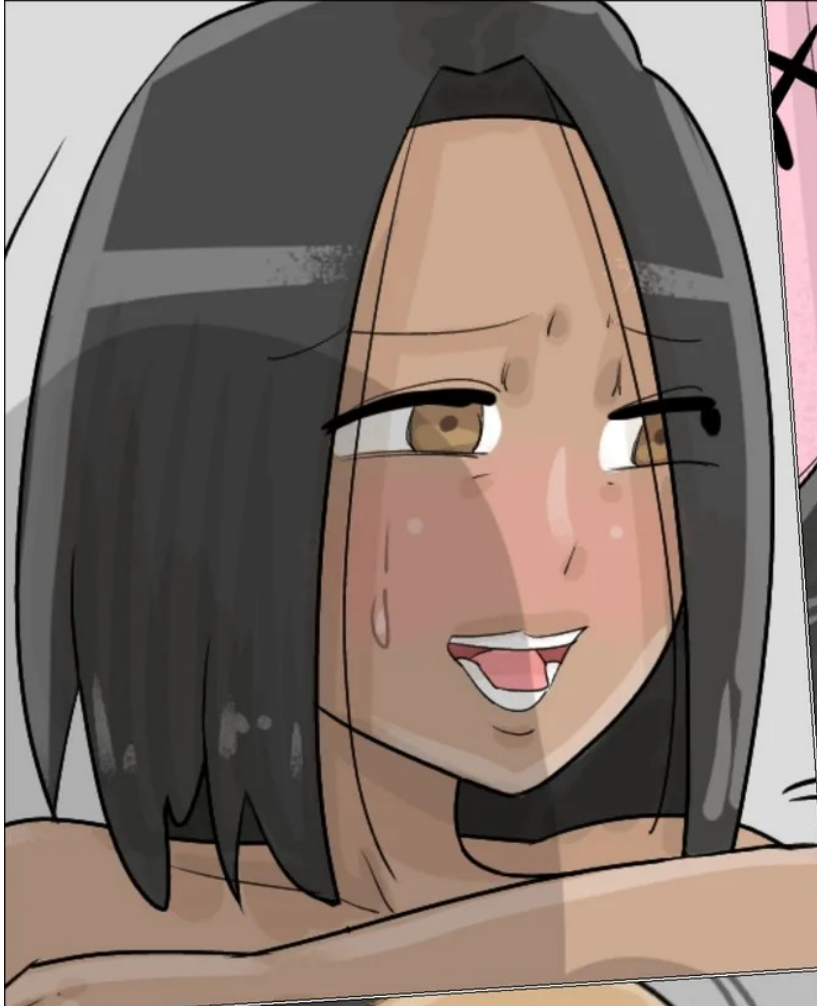


作・ぺんちゃんぺん
フルカラー 50 ページ

彼氏

彼女

黒人女たちに
好きな男の子を
寝取られた。



**黒人女たちに
彼氏を寝取られた。**

ナナミとはずっと
友達だった…。

コウタくん
一緒にあーそぼ！

うん、いいよ…。

のんきな僕に比べて
ナナミはしっかり者で
僕のお母さんみたいだった。

早くしないと
遅刻するよ…。

わかってるよ…。

そして……。

好きなの…。
その…私と…
付き合ってくんない？

僕はナナミに
告白された。

ありがとう……。昔から…一緒にいたから…。

そういう風に見てなかったけど…。

だめ…？
なの……？

そっ、
そうじゃなくて…。

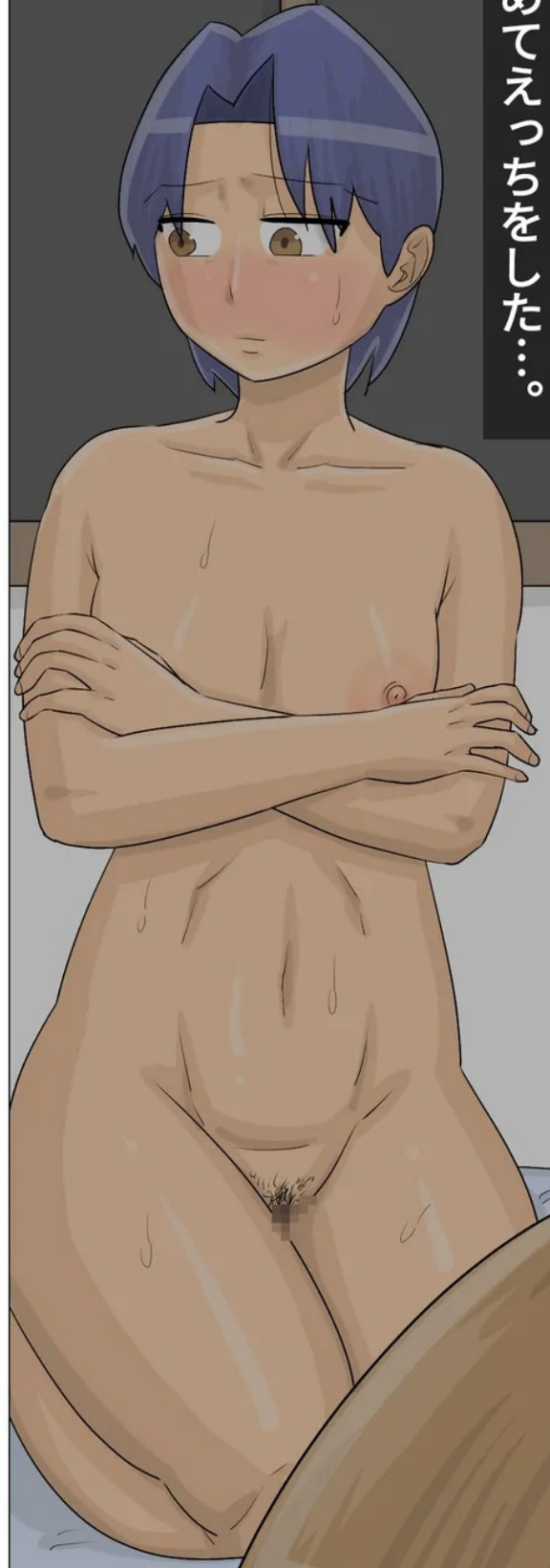
今…その…
告白されて…
思ったんだ…。

僕も…。
いつもナナミのこと…。
考えてたなって…。

ナナミ……。僕からも言うっね…。

僕と……。付き合ってください…。

それから…付き合ってから半年後、
僕達は初めてえっちをした…。



ここで…。合ってる？
痛くない？ナナミ？

おちゅっ

はあ

はあ

うん、大丈夫…。
きもちい…。
続けて…。

はあ

はあ

はあ

はあ



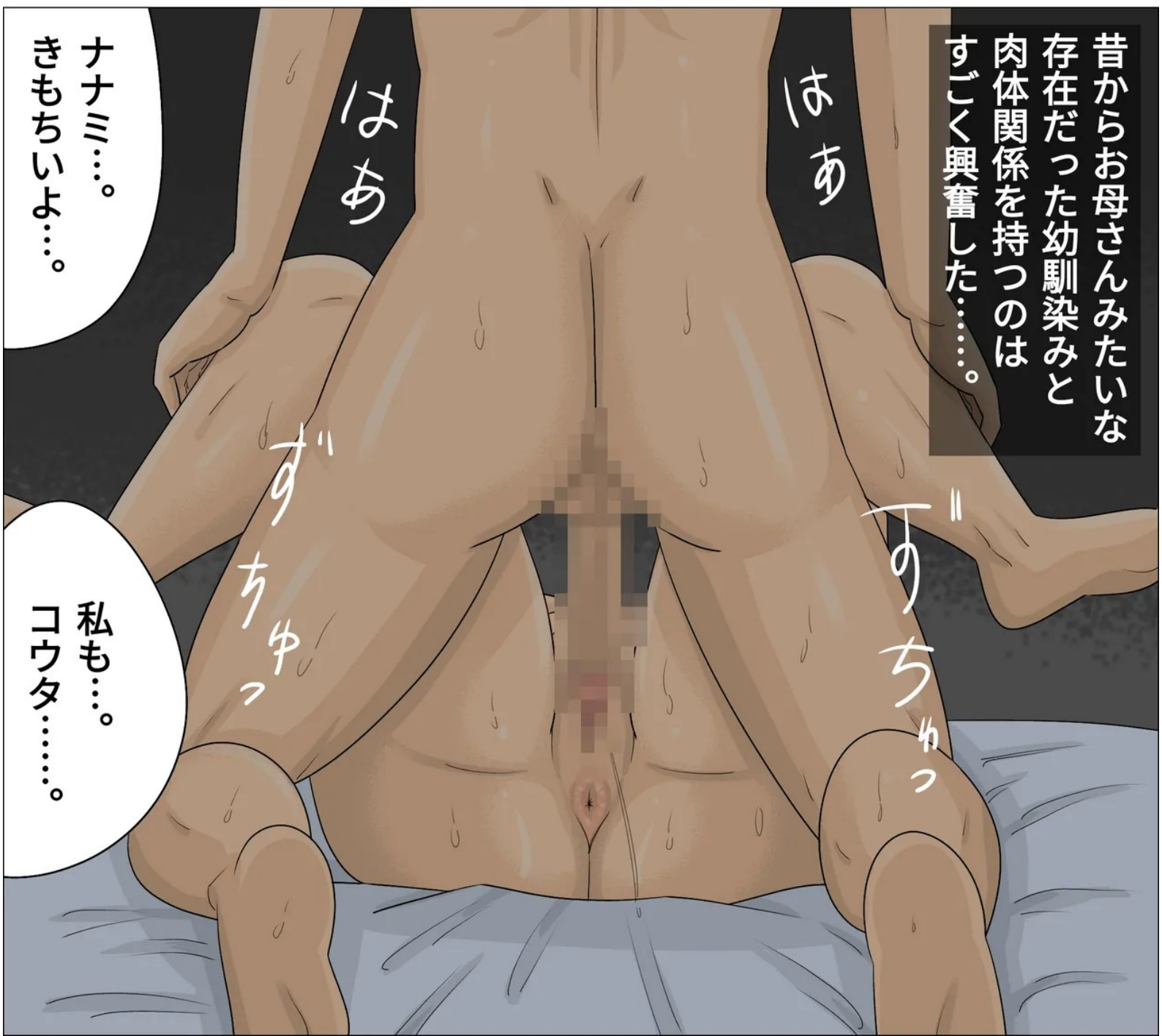


私も……。
コウタ……。
好き……。



ナナミ、ホント可愛い……。
愛してる……。

すちゅっ
すちゅっ



昔からお母さんみたいな
存在だった幼馴染みと
肉体関係を持つのは
すごく興奮した……。

はあ

はあ

ナナミ……。
きもちいよ……。

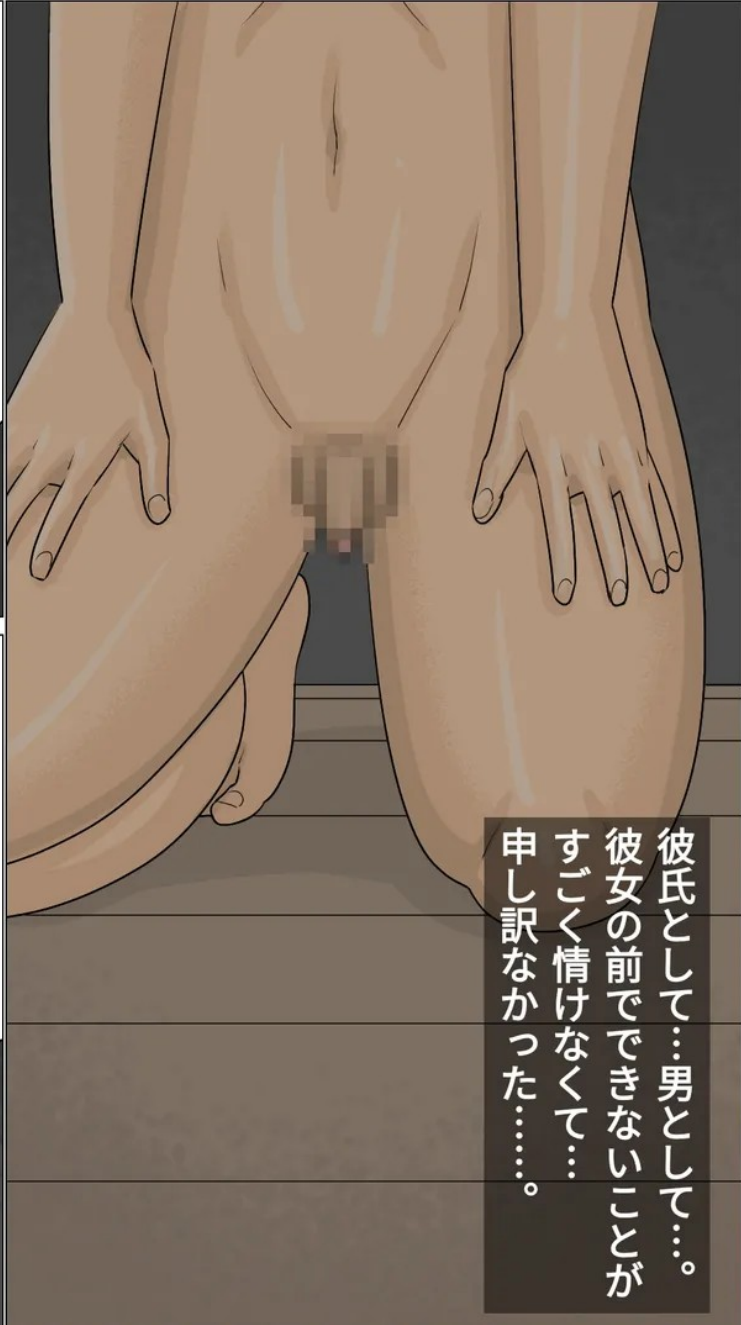
私も……。
コウタ……。

すちゅっ
すちゅっ

すちゅっ
すちゅっ

だけど……。
なぜかわからないけど……。
僕はずっとナナミとの
えっちでは射精できなかつた……。

ごめん……。
ナナミ……。



彼氏として……男として……。
彼女の前でできないことが
すごく情けなくて……。
申し訳なかつた……。

もういいわよ……。
しっかり運動して……。
早く寝てね？

不健康だから、
射精できないんでしょう？

う、うん……。



後日。

ありがとう…。
家まで送ってくれて…。

うん…。

じゃあ、ちゃんと
家で筋トレしてね？
あと早く寝ること！

よかった…。
そんなに嫌われてなくて…。
でも、このままじゃダメだ…。

家に帰って…。
筋トレして…。
それと勉強も…。

アノ…。
スイマセン。

ん……。?
ん……？

道お尋ねしても
ヨロシイデスカ？

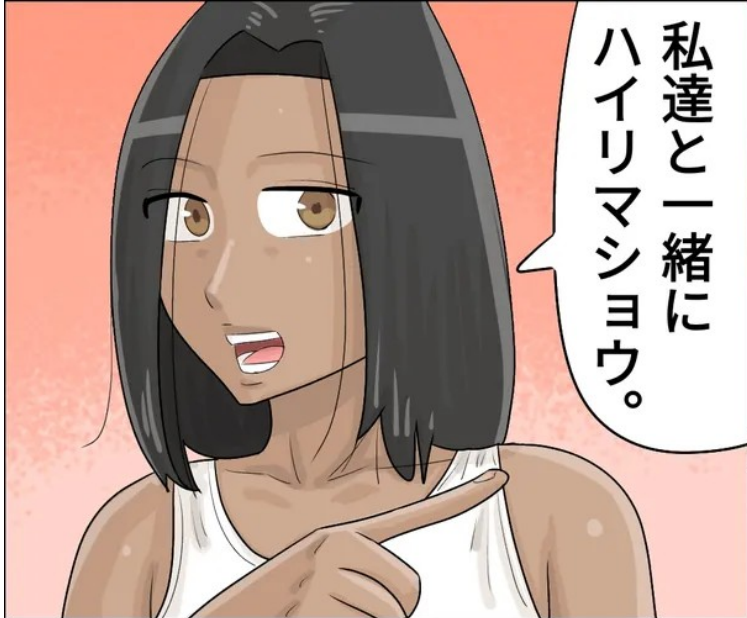
ああ…。
えっと…。

外国の人だ…。

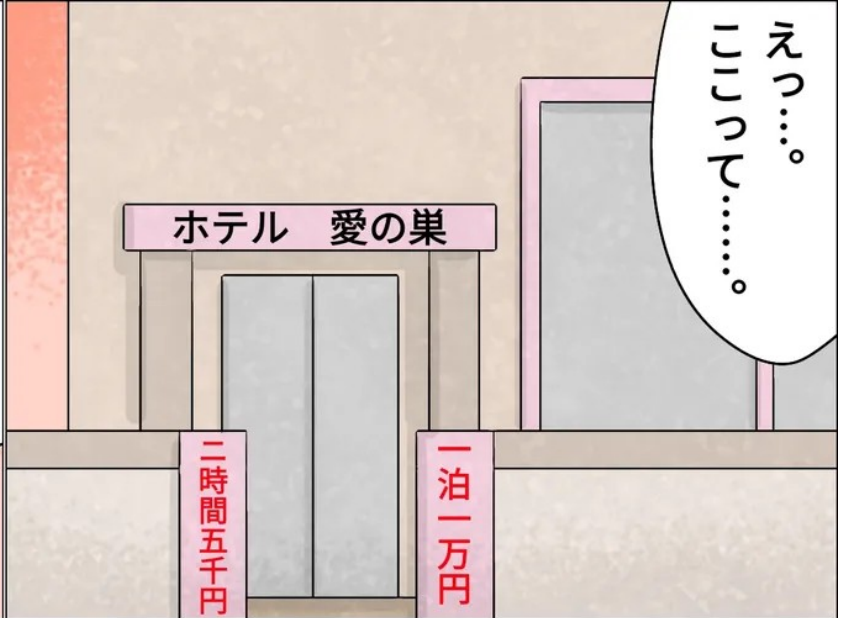
ああ、ここなら…。
えっと…。

イエスイエス！
アリガトウゴザイマス。

一緒に行きましようか？
ゴーウイズミー？



私達と一緒に
ハイリマシヨウ。



えっ…。
こ…こ…って…。



いいじゃないですか。
海外じゃ男が浮気とか
アタリマエですよ。

私達と一緒に
楽しみましょう。



イヤ…だめですって…。
僕、彼女いるし…。
アイハブ…ア…ラバー！

そうやって半強制的に
外国人たちに部屋に
連れ込まれた…。

まずは、シャワー
浴びましょう。

そうです、そうです。
ハダカのツキアイです！

いやっ……。ホントに
だめなんですって…。
ストップ…。

いいじゃないですか！
諦めてください！

イッパツ
やらしてくーださい！

ガシッ

そして、全員裸になり
一緒にお風呂に入った…。

フ〜。フ〜。
キモチ良いですね〜。



ナナミのよりも……。
全然大きい……。



コウタ…。
オセナカ流しますよ。

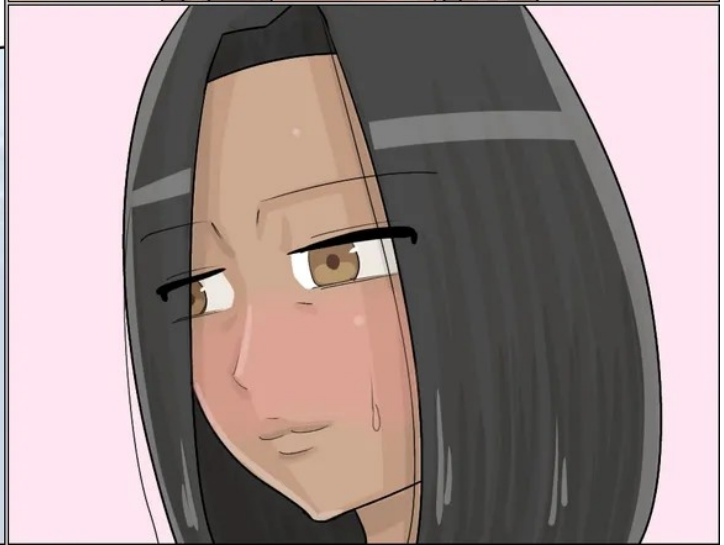
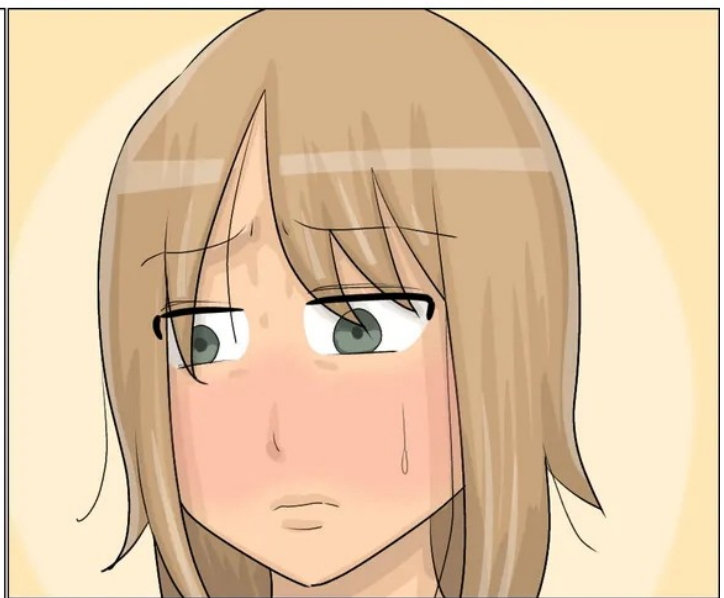
ビクッ

わっちょ…。
いいです…。

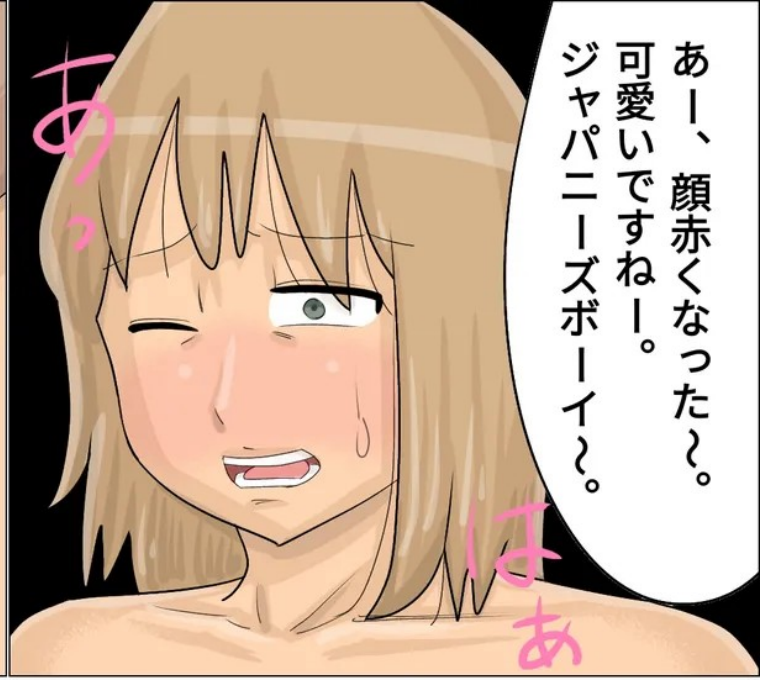
てっ…そっ…
背中じゃない…。

コウタ、さっき
一緒にいたオシナのひと
彼女ですか？

そ、
そうだけど…。



あー、顔赤くなったよ。
可愛いですねー。
ジャパニーズボーイ？



あれ？おちんちん、
カタクなってますよー笑

ちっ違いますっ……。
離してくださいっ……。



こっしてしばらく
無理やりおっぱいを触らされて
股間も…いじられた…。



どうですか？
コウタ？

気持ちいい？
シャセイシマスカ？

くちゅゅ

くちゅゅ

そっそんなこと...
しないよっ.....

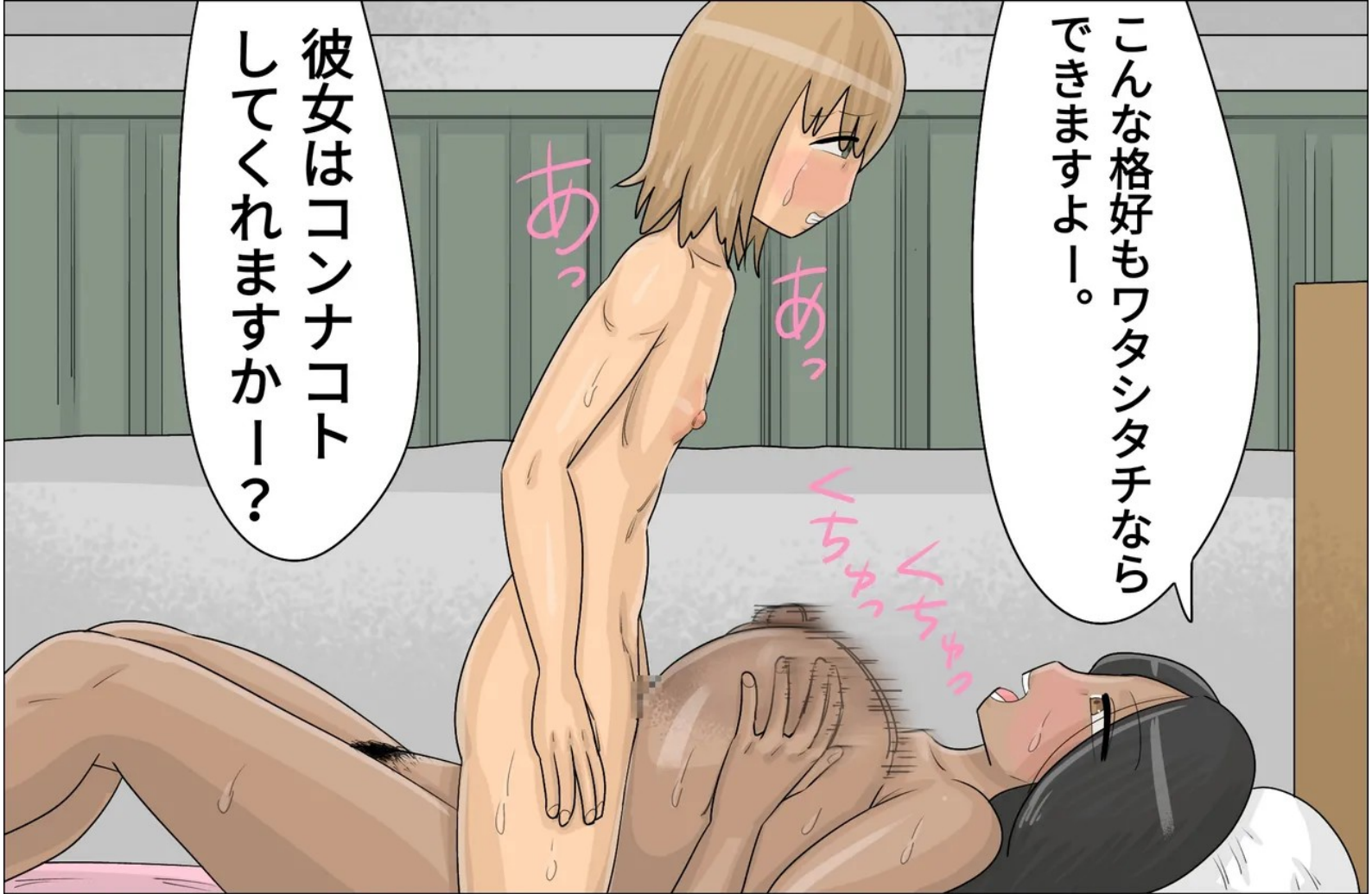


とは言っても
ヤバイ…。
すごい
弾力があって。
気持ちいい…。



おおー、気持ち良さそう。ワタシも興奮します。彼女いるのに、イケナイ男ですね。

ナナミのと比べたら……。バカッ…そんなこと考えるんじゃない……。



こんな格好もワタシたちなら
できますよー！

彼女はコンナコト
してくれませんかー？

あっ

あっ

くちゅっくちゅっ



してくれないでしょー？
ジャパニーズガールは
シャイですもんねー？

うっうるさいっ……。
君たちより……。
彼女の方が……。

あっ

あっ

あっ

あっ

じゃあ、彼女さんに
カテルヨウニ
頑張っしてしごきまーす。

あつ
やめっ…。



コウタどうしたんですか？
気持ち良いんですか？

ヤバイ……。股間が
ふわふわしてる
ゼリーに包まれてるみたい…。

ヤバイっ…。
イツちやう…。

おおー、
デましたねー！。
すっごい
ノウコウですねー！。

オツパイやっぱり
好きなんですネー？
このヘンタイさん！。

ごめん……。
ナナミ……。
僕……。

ぴゅっ

あ
あ

ナナミという彼女がいるのに……。
他の女の人と交わり、
射精してしまったという罪悪感で
コウタは困惑していた。

ごめん……。ナナミ……。
違うんだ……。これは……。
この人たちに無理やり……。



ソレトモ
こうですかー？



こういうのが
スキなんですかー？

耐えろ……。耐えろ……。我慢しろ……。ナナミを裏切っちゃだめだ……。



反応がスナオで可愛いですね。ホントにジャパニーズボーイは興奮します。

その黒人の舌使いは、どんどんコウタの敏感な部分をなめてきて、何人もの男を相手にしてきた熟練のヤリマンという風だった。



コンナコトモ
できますよー？

くっ…。そんなの…
全然気持ち良くないから…。

ぐっ
ぐっ

ホントですか？
でも、チンコさつきよりも
オツキクなってますよ？

ホントはじゅじゅ
ドMっぽくない
スキでしょ？

ぐっ
ぐっ

うふふ笑
正直にイッたら
どうですか？



ひどいでーす。
ヤバンだなんて…。
コウタが今してる
ウワキのほうか
よっぽどヤバンね。



キモチイイです…。
彼女じゃコンナコト、
してくれないって



ちっちがう…。
僕の…彼女は…
君たちみたいなの
野蛮な奴らじゃない…。



もうコウタは
ウワキヤロウです。
足でシゴカレテ
こんなに勃起
してるんですから。

くちゅっ

くちゅっ

ちゅちがう……。
これは君たちに
心を許したんじゃない……。
あくまで生理的の反応で……。


くちゅっ

くちゅっ


何言ってる？コウタ。
ムズカシイ日本語、使わないで。
おお、射精シチャイマシタカ。

びゅっ

びゅっ



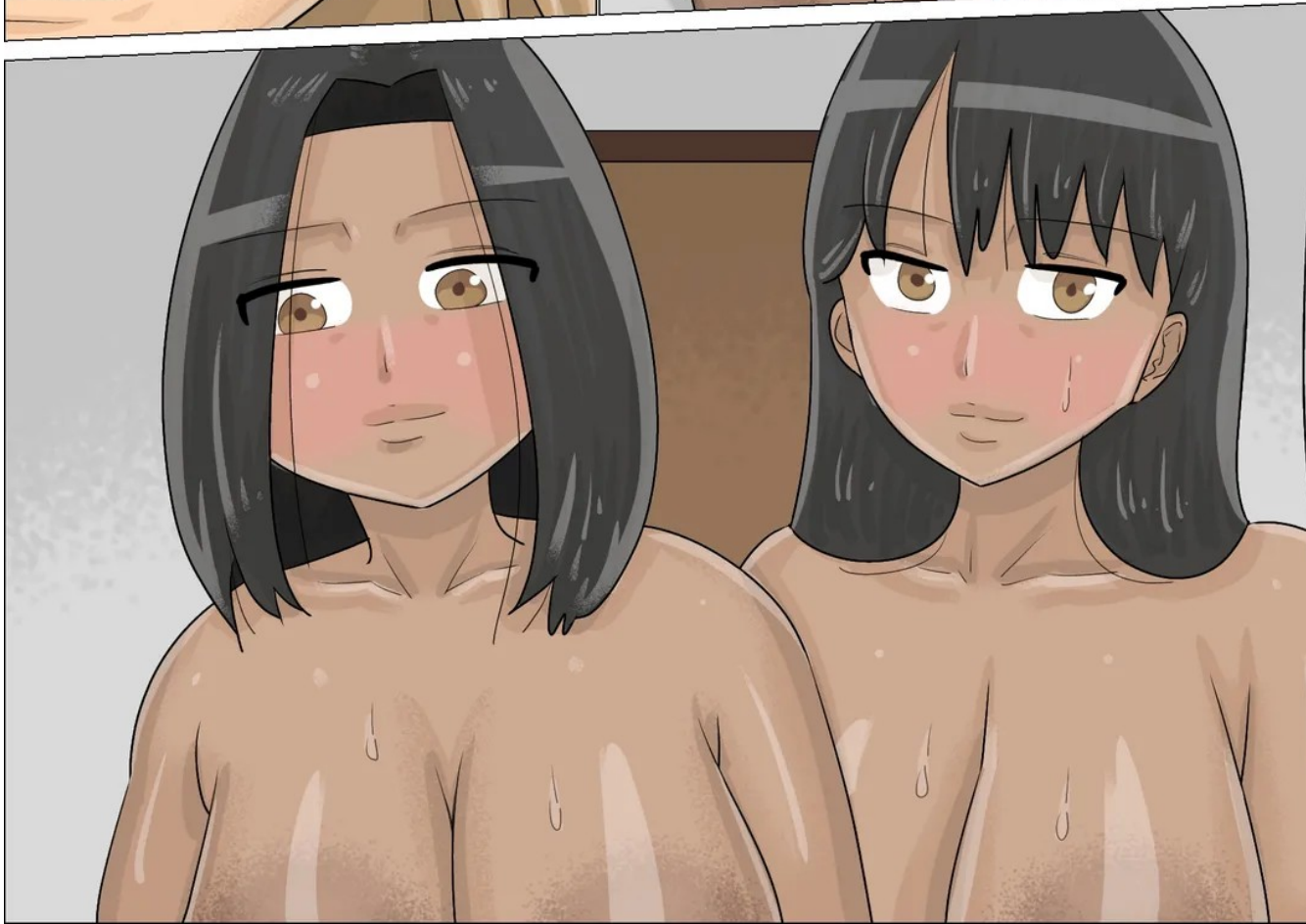
なんで…。ナナミの時は…。
出なかったのに…。
なんでこいつらにヤラれて
出しちゃうんだよ…。



良いですね〜。
ジャパニーズボーイ。
こんなザコチンポ可愛すぎて
挿れなくなっちゃいますね〜。



えっいやいやいや…。
だめっ…。僕、彼女いるし、
それは絶対に無理…。



ていうか、君たち卑怯だよ…。
僕を騙して…こんなこと…。

そんな怒らないで
クダサーイ。コウタ。

ガ
しゅ
っ
ゅ
っ

コウタも喜んでました。
たくさんシャセイ
してましたよ？

やっ……。
やめて……。放して……。
そこまでしちゃったら……。

ハ
ッ
ッ
ッ
ッ

最後まで、ヤラシテクダサイ。
イッパツお願いしまーす。

ナナミに……。
彼女に……
嫌われちゃうよ……。

く
ち
ゃ

く
ち
ゃ

あ、ゴメンナサイ〜。
手がスベってオチンチン、
ハイツチャイマシタ笑

あつ…。ジャパニーズボーイの
チンコ、大きいですつ……。
奥まで届きまーす。

はあ
はあ
びくっ

あ
びくっ

あ

ゴメン…。ナナミ…。
僕…ナナミのことを…。
裏切っちゃった…。



どうですか？
ワタシのおまんこ
気持ち良いですか？

すごいでーす。
ニホンのボーイで
オチンチンこんな
大きい人は初めてでーす。

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

気持ち良くないっから…。
早く抜いて…。全然っ…。
気持ち良くないからっ…。

いやっ…。無理でーす。
コウタがイくまで
続けまーす。

ぽん

ぽん

ぽん

早くワタシに
代わってくださいい？。

Oh yah!
Oh yah!

あ
あ
あ

あ
あ
あ

I'm coming!
Feel so good!

あ
あ

あ
あ

あ
あ

あ
あ

I'm
coming!

ビクッ

ナナミとのセックスと違って…。ヤバイっ…気持ち良い…。

くちゅっ

くちゅっ

何これ…。悔しいけど…。

いっつ

へへへ。どうですか？コウタ？彼女はこんな下品で激しいエッチはしてくれないでしょ？

受け身でコウタに任せっきりのナナミとは違い、黒人の女たちはコウタをおかしくなるくらいいいじめ倒した。

ちゅっ

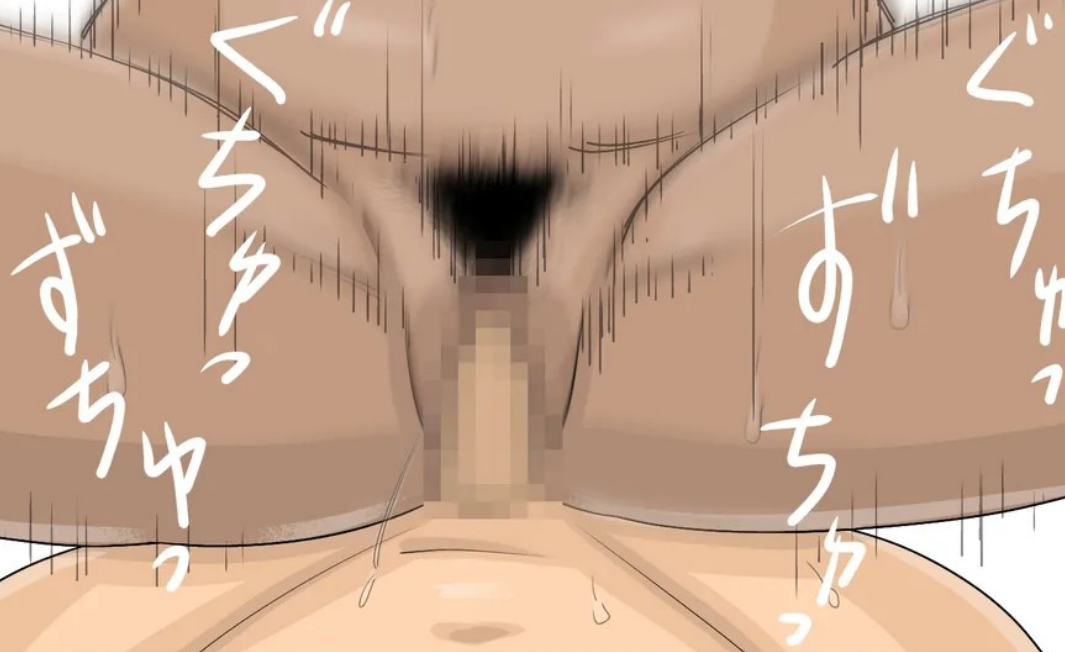
ちゅっ

ちゅっ



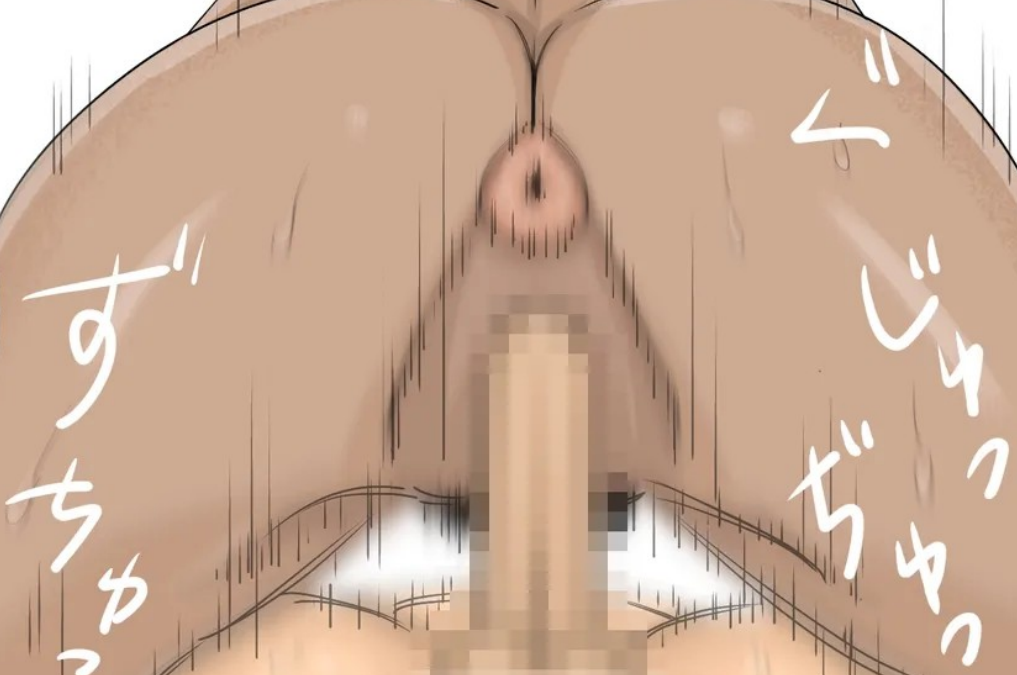
ハヤク射精して…。
たくさん精子クダサーイ。

いっ…出すわけ…ないでしょ…。
僕にはっ…彼女がっ…。



そんなこと言わないで…？
ホントはたくさん精子出して
キモチヨクになりたいんでしょ？

そんなこと…。
ないっ…彼女のこと…
裏切れないよっ…。

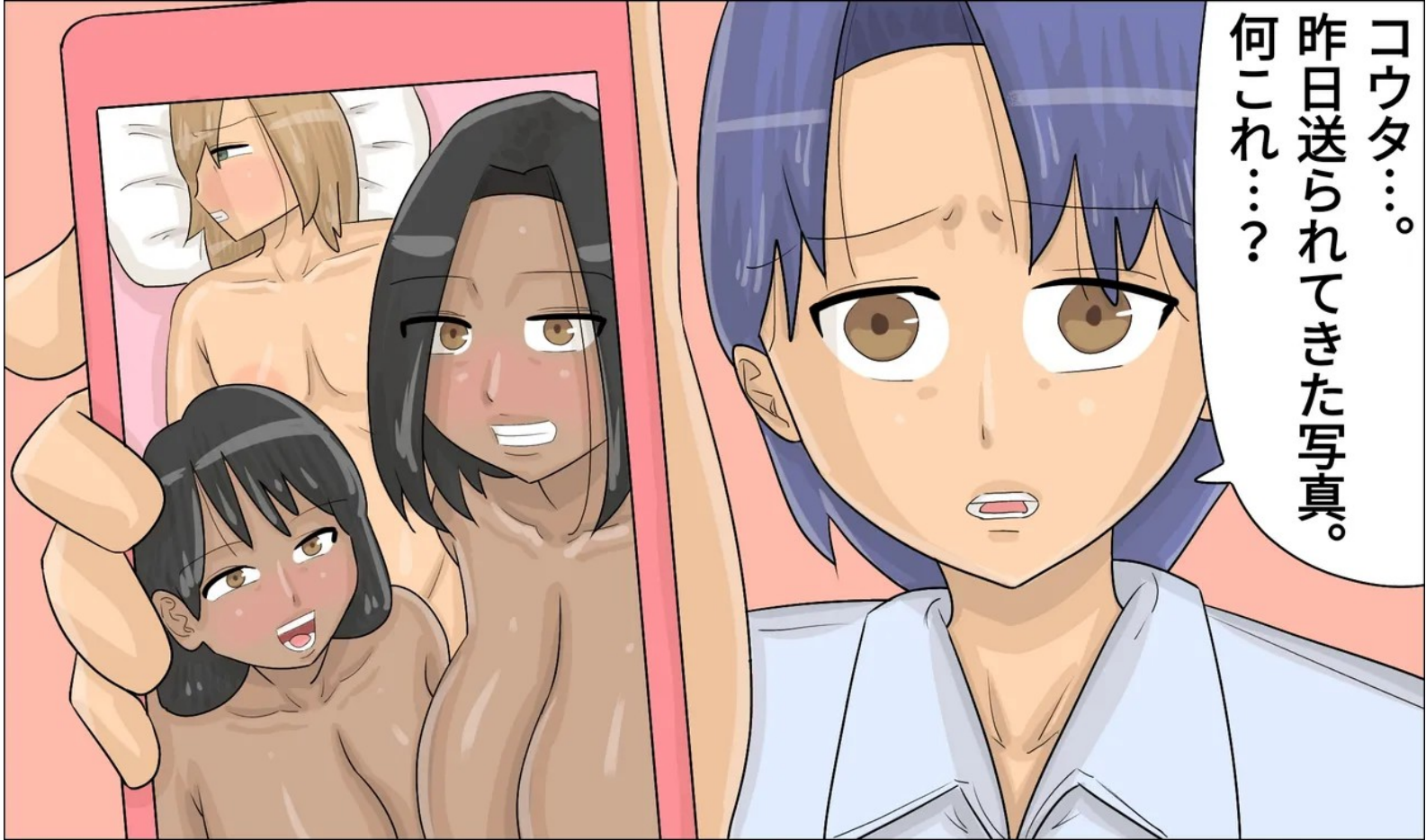


あーあ、やっぱり
出ちやいましたね笑
ニホンのオトコなんて
こんなもんですか？笑
チヨロいですね笑

口では彼女が一番と
言っておきながら、
黒人たちのエッチに
体が反応してしまい、
コウタの自尊心は
崩壊寸前だった。
そして、ラブホを後にした…。



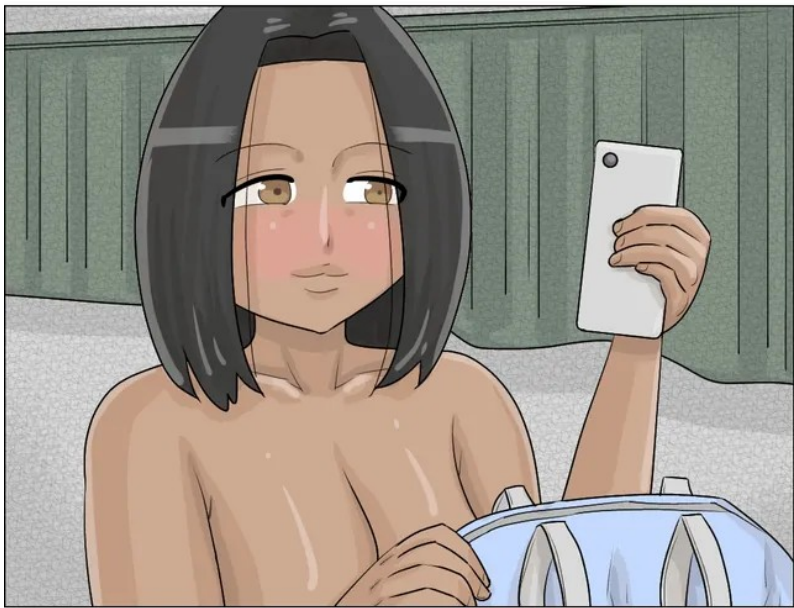
コウタ…。
昨日送られてきた写真。
何これ…？



えっ…違うんだ…。
それはっ…。



なんで…。
その写真が…。



私のこと、
騙してたんだね。



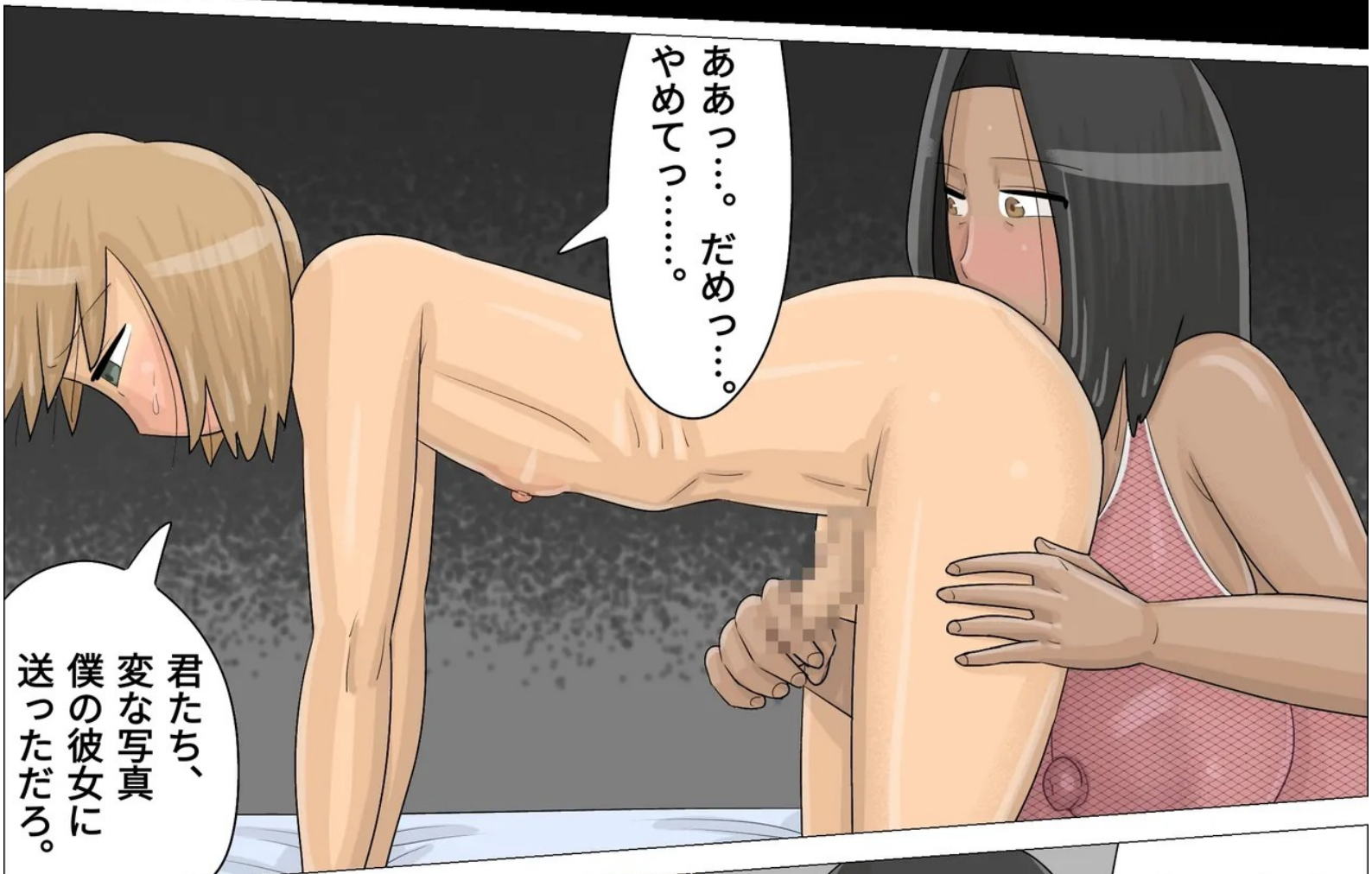
ちっ違うんだ…。
それは、騙されて…。

言い訳なんて
聞きたくないよ…。

私、ずっとコウタのこと
好きだったんだよ…。

でもコウタは私のこと
好きじゃなかったんだね。

さよなら…。



ああっ...。だめっ...。
やめてっ...。

君たち、
変な写真
僕の彼女に
送っただろ。



ふざけるなっ...。
彼女にフラレたんだぞ...。
君たちのせいだ...。



えっ？
何のことかなく？
ワタシたち、
わかりませーん笑

ていうか、何だよ。
その服……。

はあ

はあ

くちゅっ

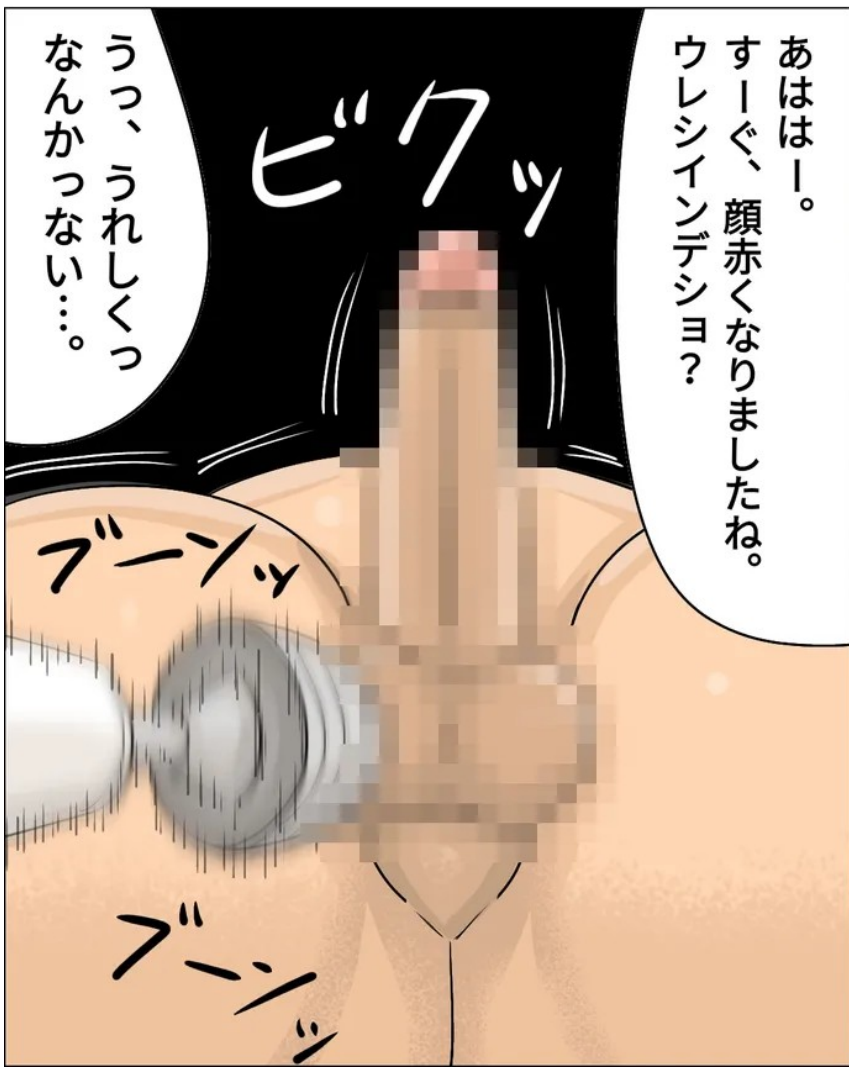
日本人は好きでしょ？
こういうエッチなフク。

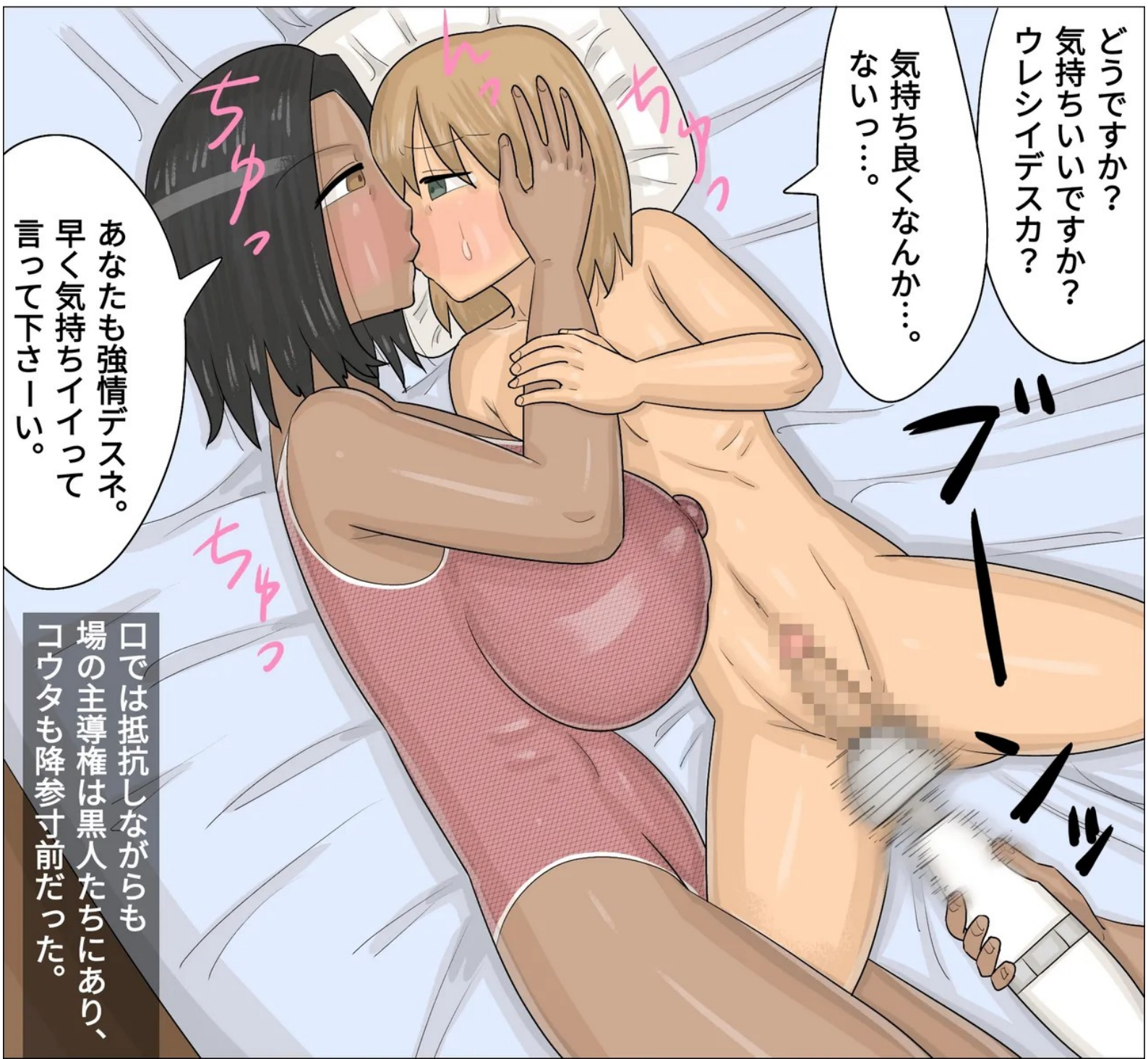
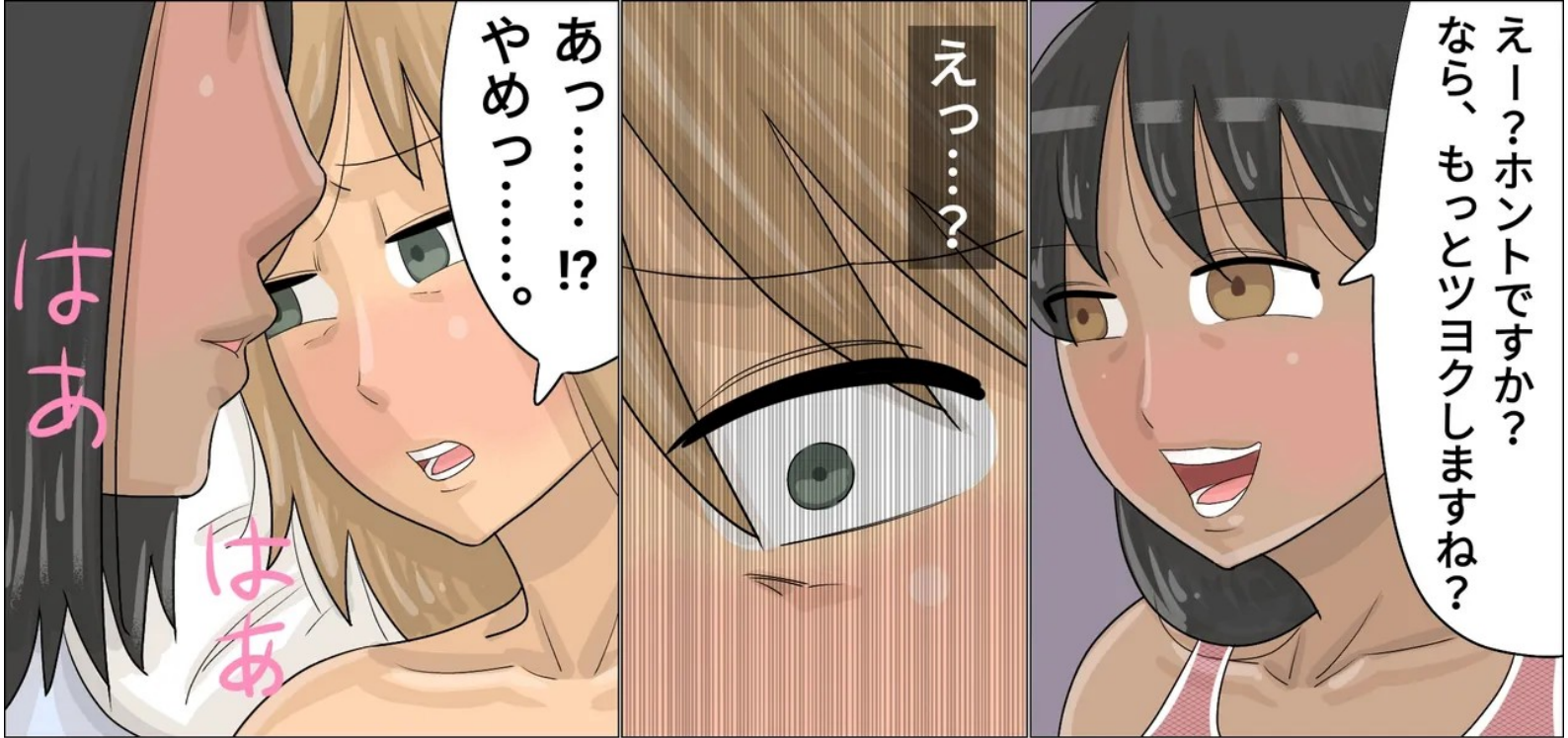
コウタに喜んでもらいたくて
着たんだよ？興奮シマシタカ？

そんなっ……。
そんなの……
嬉しくなんて……。

そうですね。
それなら、嬉しいって
言うまでガンバリマースネ。

ちゅっ
ちゅっ





口では抵抗しながらも
場の主導権は黒人たちにあり、
コウタも降参寸前だった。



彼女よりも好きですか？
ワタシたちのこと。



気持ち良いからっ……。
もうやめてっ……。



わがったっ……。
もうやめてっ……。



好きっ……大好きっ……。
ナナミよりも……。

だからもう……
やめてっ……。

ビクッ

ビクッ

ブーン

そうですか。
ウレシイデス…。
ワタシたちもコウタのこと
好きです……。

ご褒美に最後まで
シテアゲマスネ。



あっ……。
イツちやう……。

もうやめてっ……。
もうイってるから……。

ビクッ

あっ

どひゅっ

ブニツ



コウタは彼女のことは忘れて、
心はもはや黒人女たちの
奴隷になっていた。
そして、ここからまた
さらにコウタのプライドが
削られていくことになる……。

そうそう…。
ソコだよ？
自分で挿れれる？

ぐちゅっ
ぐちゅっ

うん……。
挿れれそう……。

はあ
はあ
んっ

挿った……。
ああっ……気持ち良い……。

ぐちゅっ
ぐちゅっ





ワタシが
動きマース。



コウタは動かなくて
イイデスカラネ…？

ああっ…。本当は男のほうが
動かないといけない体位なのに…。
女の人に動いてもらってて
なんか変な感じ……。



まだ出ますよね？
射精しなかったら、
ユルシマセンカラ。

あの……。もう出ちゃう……。

はあ

はあ

一回休憩させて……。

ダメです。抜かせません。

そのまま射精してください。マンコの中で出してください。

はあ

はあ

はあ

イツちゃえ……。イツちゃえ……。

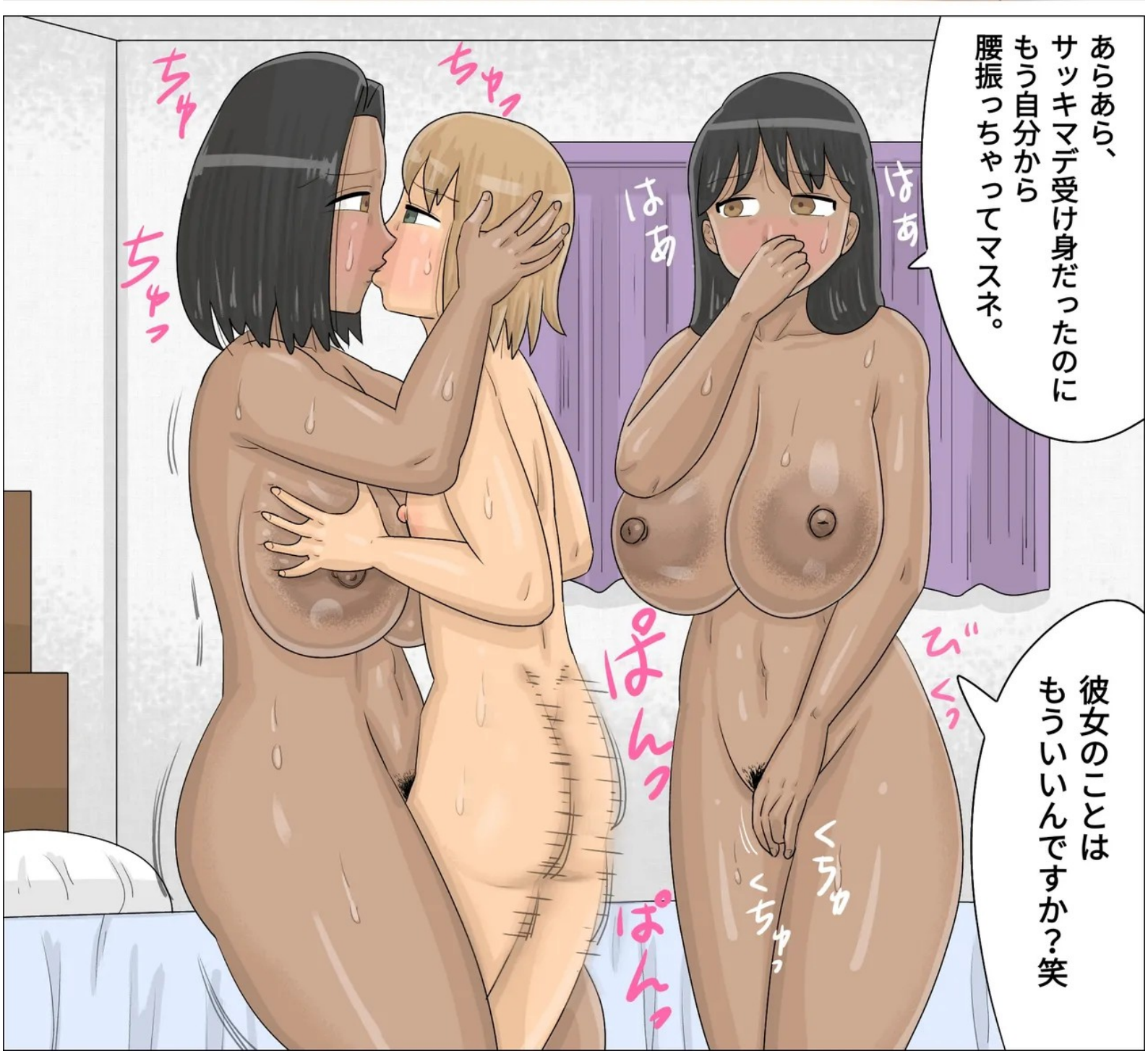
マンコの中で射精しちゃえ……。彼女なんて忘れちゃえ。

ああっ……。
いくっ……。

逃しませんよ。
全部出シチャエ。


ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ






あらあら、
サッキマデ受け身だったのに
もう自分から
腰振っちゃってマスネ。


彼女のことは
もういいんですか？笑



わかんないけど…。
彼女とその…えっちしたときは
こんなに興奮しなかった…。



けど…。
君たちとのえっちが…。
気持ち良すぎて…。



たぶん…。体の相性が
良くなかったんだと思う…。

もうおかしく…。
なりそう…。

ホントウニ悪い男ですね。
彼女のこと、裏切っちゃって。



外国の女の人と
浮気するなんて…笑



ちがうっ…。
君たちのせいだ…。



本当はナナミとこのまま…。
仲良くやっていく
はずだったのに…。

君たちと…。
こんなこと…。
しちゃったから…。



はんっ
はんっ
はんっ

はんっ
はんっ
はんっ

ああっ…。
またイッチャう…。

ぽんっ

ぽんっ

ぐちゅっ

ええ。またイッチャうの？
早いよ。

あっ

ぽん

んっ

ごめんっ…。
ナナミ…。

ビクッ

ぐちゅっ

ナナミの体では
興奮できなかった。
初めのうちは黒人女たちの体に
興奮している自分が情けなく、
そして罪悪感があった。
しかし、最後はすべてが
どうでもよくなり、
性欲に身を任せているコウタがいた。

今回のボツカット



どうも、同人作家のぺんちゃぺんです。
同人誌のご購入、ありがとうございます。

ボツカットがもったいないので、載せておきます。

需要あるかな？笑

ユーチューブで情報発信、ツイッター・ピクシブで
イラスト投稿していますので、
よかったら遊びに来てください。

原作・ぺんちゃぺん